

### 実施計画の取組み（R3年度～R6年度）

#### 1 プレーヤー

- UXプロジェクトに参画するプレーヤーを育成、誘致

#### 2 ネットワーク

- プレーヤーに対して、企業・研究機関等とつながる機会を提供

#### 3 コンテンツ

- 各段階に応じて伴走する体制「チーム熊本」の整備、アイデア創出段階から支援する仕組みの構築

#### 5 データ

- ビジネスに結びつくデータにアクセスできる体制を整備

#### 7 ハコ

- プレーヤーの交流や共同実験を行うための施設を提供

### 関連する取組み（R4年度）

- 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【再掲】  
 創業・新分野進出推進事業
- ベンチャーマーケット
  - オープンビジネスコンペティション（崇城大学ビジコン）
- 地域未来投資促進事業
- くまもとイノベーションスクール「次代舎」

- 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【再掲】  
 次世代ベンチャー創出支援事業（熊本テックプランター）  
 くまもとオープンイノベーション推進事業
- 創業・新分野進出推進事業
- ベンチャーマーケット
  - オープンビジネスコンペティション
  - コワーキングスペース、インキュベーション施設を活用した創業支援

- 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【再掲】  
 次世代ベンチャー創出支援事業【再掲】  
 くまもとオープンイノベーション推進事業【再掲】  
 くまもとクロス支援事業
- 創業・新分野進出推進事業【再掲】

- 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【再掲】
- DXの推進に係る取組み（情報政策課）  
 とも必要に応じて連携

- 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【再掲】

「大空港構想Next Stage」や「熊本県産業成長ビジョン」に掲げる取組みの実現とともに、本県経済が将来にわたり、持続的に成長していくためには、半導体関連産業及び自動車関連産業に続く「第3の柱」となる新たな産業の創出が必要

そのため、空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野を中心として、ビジネス創出の好循環(エコシステム)形成を目指す「UXプロジェクト」を推進

## < 現状・課題 >

### 【現状】

- ・基本計画(R3.10策定)では、ライフサイエンス分野の強みを生かした、県内産業の「第3の柱」の創出を掲げている
- ・そのために、まずは、全国から起業家等が集い、新たなビジネスが生まれることによる新産業の創出が必要

### 【課題等】

- ・新産業の創出に向けては、多種多様な人材の集積が必要
- ・併せて、それらの人材による交流・実証の機会や場所、一体的なサポート体制が求められる
- ・さらに、新たなビジネスの源泉となる様々なデータへのアクセス環境が不可欠

## < 事業概要 >

**事業費**：1億33百万円

**事業内容**：全国から起業家等が集い、新たなビジネスが生まれることによる新産業の創出に向けた取組み

起業家・企業・研究者等の発掘・呼び込み・育成 31百万円

・本プロジェクトの推進に不可欠なプレイヤーの集積を図るイベントの開催、大学等と連携した人材育成ネットワークの形成 32百万円

・健康や農業等をテーマに企業等が有する技術やビジネスアイデアによる協業と実証機会の提供

支援体制の整備 6百万円

・既存支援機関のあり方・体制見直しによる機能強化  
・金融機関等と連携した資金供給体制等の構築

データ連携基盤の構築 17百万円

・プレイヤーの呼び込みとビジネス創出に資するデータ連携基盤構築に向けた調査検討

交流拠点施設(イノベーションハブ)の整備 47百万円

・既存施設を活用した先行的な交流拠点の整備・運営  
・新たな拠点施設の整備に向けた調査・検討等



## < イメージ図 >

